

特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和8年8月10日（月）

2 発生日

令和8年3月2日（月）から同年5月14日（木）までの間

3 被害品

(1) 現金 3,122万8,000円

(2) 金地金 時価2,731万8,000円相当

4 被害者

和歌山市内に居住する70代女性

5 状況

令和8年3月2日、厚生労働省の職員を騙る者から被害者方に電話があり、「あなたの健康保険証が神戸市内で使われています。保険証の不正使用の可能性がありますので、心当たりがなければ、2時間以内に兵庫県の警察まで被害届を出しに来てください。」等と言われました。

被害者が兵庫県まで行けないことを伝え、電話の相手が、兵庫県警察捜査二課の警察官や検察官を騙る者に代わり、「詐欺の犯人を逮捕しているが、犯人はあなたの名前を使ってお金をだまし取ったと言っている。」「今すぐ兵庫県の検察庁に出頭してください。出頭できないのであればあなたの全財産を調べる必要がありますので、生命保険や定期預金などを解約し、全て、新しく作った口座に入金してください。調査が終われば返金します。」等と言われました。

被害者は相手の指示に従い、定期預金を解約する等し、新しく開設した口座に入金した後、2回にわたり、合計1,999万8,000円を指定口座に送金しました。

さらに、検察官を騙る者から電話で、「警察官が現金を取りに行くので、現金を敷地内に置いてください。」「金塊を買って、敷地内に置いてください。」等と言われたことから、3回にわたり、現金合計1,123万円や購入した金塊を入れた紙袋を敷地内に置いたところ、相手から回収したという連絡がありました。

その後、被害者は身の潔白を証明できたと安心していましたが、知人にこの件を話したところ、詐欺に遭っているのではないかと言われ、警察に届け出たものです。

6 その他

詐欺電話の遮断には「国際電話利用休止申込み」や「警察庁推奨アプリ」の利用が大変効果的です。

詳しくは「＃みんなとめ」を検索、または最寄りの警察署にお問い合わせください。

万が一、知らない番号から電話を受けた場合はすぐに通話を切り、相談無料の

『ちょっと確認電話』 0120-508（これは）-878（わなや）
に確認してください。